

# 施策マネジメントシート(2018年度の振り返り、総括)

作成日 2019 年 6 月 28 日

基本目標	V	地域をささえるひとづくり	主管課	名称 町民福祉課 課長 松井田 順一
施策	24	平和と人権の尊重	関係課	生涯学習課 生涯学習係

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
町民	平和や人権への意識を高め、お互いを尊重する。	基本事業	1 人権意識の高揚	町民	人権についての正しい理解と認識を深め、意識を高める。
			2 相談・保護体制の強化	人権侵害を受けた人	人権に関するトラブルや悩みを解決できる。
			3 男女共同参画の推進	町民	自らの意思に基づき、個性と能力を十分に発揮できる。
			4 平和意識の高揚	町民	平和への意識を高める。

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民の人権に対する意識を高めるとともに、相談・保護体制を強化することで、人権侵害の軽減を図ります。</li> <li>男女が互いにその人権を尊重しつつ、性別にとらわれずあらゆる分野において個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指します。</li> <li>核兵器廃絶平和の町として、平和の問題を町民の身近な問題としてとらえられるようメッセージを発信していきます。</li> </ul>
---------	--

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A	過去1年間に、人権侵害を受けた町民の割合	%	実績値	5.3	4.7	4.3
B	全ての核兵器を速やかに廃絶すべきだと感じている町民の割合	%	実績値	87.2	87.4	88.2				
			目標値		90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
C			実績値							
			目標値							
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	<p>A) 数値が低くなれば、人権への意識が高まり、お互いを尊重しているといえるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※過去1年間に、差別や虐待、名誉毀損などの人権侵害を受けたことがありますか。→「はい」と回答した人の割合</p> <p>B) 町として、「核兵器廃絶平和の町宣言」を行っており、宣言の中で「私たちは、すべての核兵器の速やかな廃絶を求め、真の恒久平和が実現することを願い、」としているため、成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※全ての核兵器を速やかに廃絶すべきであると感じていますか。→「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合</p>
-------------------	--

目標値設定の考え方	<p>A) 2016年度以前の実績から成り行きでは5.3%となるが、人権啓発を充実させ、2022年度は5.0%を目標とする。</p> <p>B) 2016年度以前の実績から成り行きでは毎年0.2%の減となるが、平和式典・戦没者追悼式を充実させ、2022年度は90%を目標とする。</p>
-----------	---

施策のための目的・役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	<ul style="list-style-type: none"> <li>平和や人権を身近に感じ、意識を高める。</li> <li>町民がお互いに尊重しあい、思いやる意識を高める。</li> <li>性別にかかわらず、社会のあらゆる分野における活動に参画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平和や人権に関する啓発活動を学校や生涯学習の場で行う。</li> <li>性別にかかわらず、社会活動に参画し、活躍できる環境をつくる。</li> <li>児童や高齢者、障害者などへの虐待の実態を把握し対策を講じる。</li> </ul>

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後70年以上経過し、戦争を知る世代が高齢化している中で、町主催の「平和式典・戦没者追悼式」を毎年行っているが、年々参加者が減少している。</li> <li>児童や高齢者、障害者などへの虐待に対する認識が広がる。</li> <li>性的少数者に対する理解が進む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺族会会員が亡くなると、子・孫がいても戦没者との関係が遠いので脱退を希望する人が多い。</li> <li>平和の尊さと戦争の悲惨さを次世代に伝えていくために、戦争に関する報道写真などを展示する等の企画をしてはどうか。</li> </ul>

施策	24	平和と人権の尊重	主管課	名称	町民福祉課
				課長	松井田 順一

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因		
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①過去1年間に人権侵害を受けた町民の割合は4.3%で前年度より0.4ポイント向上している。 ②全ての核兵器を速やかに廃絶すべきだと感じている町民の割合は平成28年度87.2%、平成29年度87.4%、平成30年度88.2%であり、前年より0.8ポイント向上している。		
	② 他団体との比較	<input checked="" type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①単純比較はできないが、内閣府の「人権に関する世論調査(平成29年12月:調査は5年毎)によると「今までに、自分の人権が侵害されたと思ったことがある住民の割合」は15.9%となっている。町の町民アンケートによる人権侵害を受けたことがあると答えた割合は前年度4.7%、今年度4.3%であった。 ②町独自のアンケート調査のため、他団体との比較は難しい。		
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①今年度の人権侵害を受けた町民の割合は目標値5.2%に対し、実績値4.3%で目標を上回った。 ②全ての核兵器を速やかに廃絶すべきだと感じている町民の割合の目標値は90.0%に対し、実績値88.2%で目標を下回った。		

	基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
					1	人権意識の高揚	A 人権講演会参加者数	人	実績値	80	296
	B		目標値		200		200	200	200	200	200
2	相談・保護体制の強化	A 人権に関する相談件数	件	実績値	28	13	17				
		B		目標値		29	30	31	32	33	34
3	男女共同参画の推進	A 審議会・委員会等における女性登用率	%	実績値	14.4	16.7	17.2				
		B		目標値		17.0	19.6	22.2	24.8	27.4	30.0
4	平和意識の高揚	A 平和式典・戦没者追悼式参加者数	人	実績値	140	123	129				
		B		目標値		140	140	140	140	140	140

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
	1 人権意識の高揚	普及啓発活動の強化	①講演会開催にあたっては、参加しやすいようなテーマづくりをするため関係部局と連携を一層図っていく。 ②町内で行われる各種イベント等において、人権擁護委員(7人)が人権啓発を行い前橋地方方法務局沼田支局と連携しながら人権意識の高揚を図る。
	2 相談・保護体制の強化	相談窓口の更なる連携及び相談員の知識の向上	関係部署や関係機関との連携において、何らかの措置が急務の場合に対応できるよう研修会や勉強会等の積極的な活用によって対策を強化する。
	3 男女共同参画の推進	女性登用率が徐々に高くなっているが、未だ県内で低い位置にある。女性の登用を積極的に行う必要がある。	各種審議会・委員会に対して、女性の登用を積極的に行うよう具体的な働きかけを検討する。
4 平和意識の高揚	①先の大戦を知らない世代が大半となっており、戦争を伝える活動が大切になっている。 ②平和式典及び戦没者追悼式の開催において、中学生の減少に伴い、今まで行ってきた「平和への思い」の作文、折り鶴の作成に困難が生じ対策が必要となっている。	平和への意識高揚を図るための作文、折り鶴の作成について、学校と協議の上、今まで通り行えるよう工夫する。	

## 24\_平和と人権の尊重

平成 30 年 8 月 16 日作成 (令和 元 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000001	人権啓発講演会事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	360,455 円	
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重	人権に関する町民の意識を高めるため、人権啓発講演会等を開催し人権意識の高揚に努める。		特になし		事業実績		
	基本事業	01	人権意識の高揚					講演会参加者数		
根拠	無	組織	町民福祉	課	窓口・医療	係	法務省委託事業、「人権」に対してより多くの町民に意識を高めてもらうため、有効な手段の一つである講演会の内容等について、時代の変化を踏まえながら開催していく必要がある。		特になし	
事業期間	継続事業 ～ 年間		会計	1	款	3				
		平成29年度	平成30年度	単位				296	200	人

平成 30 年 8 月 11 日作成 (令和 元 年 6 月 21 日更新)

事務事業	000002	人権教育推進協議会運営事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	43,917 円	
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重	みなかみ町人権教育推進協議会(社会教育委員)の運営及び各種研修会等への参加、人権に関するポスターの展示や人権啓発に関する講話などを行い、人権教育の情報発信や学習機会を提供することによって、人権教育の啓発・振興に努める。		今年度も例年どおり「人権に関するポスター」の展示をするなど、人権教育の推進に向けた一定の取り組みはできた。		事業実績		
	基本事業	01	人権意識の高揚					人権ポスターの応募者数		
根拠	無	組織	生涯学習	課	生涯学習推進	係	町内小中学生に「人権に関するポスター」を描いてもらい、人権を考えるよいきっかけとなっているが、その他(特に成人)に対する人権教育を推進する場が少ない。また、人権も多岐にわたるため、推進の仕方が難しい。		来年度は、町民福祉課と合同で講演会を開催し、その中でポスターの表彰式を実施するなどさらに人権意識の高揚に努めたい。	
事業期間	継続事業 H ～ 年間		会計	1	款	10				
		平成29年度	平成30年度	単位				71	49	人

平成 30 年 8 月 16 日作成 (令和 元 年 7 月 8 日更新)

事務事業	000001	心配ごと相談・法律相談事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	497,924 円	
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重	町民の日常生活上の様々な相談に応じ、適切な助言、援助を行い町民の福祉増進を図ることを目的として心配ごと相談・法律相談事業を実施している。なお、心配ごと相談所の開設運営については、社会福祉協議会に委託している。		無し。		事業実績		
	基本事業	02	相談・保護体制の強化					相談件数		
根拠	無	組織	町民福祉	課	障害・福祉	係	課題なし		無し。	
事業期間	継続事業 H ～ 年間		会計	1	款	3				
		平成29年度	平成30年度	単位				45	30	件

平成 30 年 8 月 16 日作成 (令和 元 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000002	人権擁護委員事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	105,600 円	
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重	前橋地方法務局沼田支局管内の人権擁護委員で構成されている沼田人権擁護委員協議会へ負担金を支出している。同協議会は町内の小中学校で人権教室、特設人権相談所や心配ごと相談所などの相談業務、また町が主催で行う人権啓発講演会で啓発活動をしている。		特になし		事業実績		
	基本事業	02	相談・保護体制の強化					開催回数(会議・研修会)		
根拠	無	組織	町民福祉	課	窓口・医療	係	人権擁護委員協議会の事務局である前橋地方法務局沼田支局と町と情報共有の方法を検討する。		特になし	
事業期間	継続事業 H ～ 年間		会計	1	款	3				
		平成29年度	平成30年度	単位				12・4	7・4	回

## 24\_平和と人権の尊重

平成 30 年 9 月 1 日作成 (令和 元 年 6 月 11 日更新)

事務事業	000001	日本非核宣言自治体協議会参画事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	20,000 円				
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重			日本非核宣言自治体協議会に参加し、核兵器の廃絶、平和宣言を呼びかけるとともに、自治体間の協力体制を確立する。	なし	事業実績					
	基本事業	04	平和意識の高揚					会員自治体数・宣言自治体数					
根拠	有	組織	総務	課	総務	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	3	項	1	目	1	平成29年度	平成30年度	単位
							課題なし	なし					
								322・1619	330・1632	団 体・ 団体			

平成 30 年 8 月 16 日作成 (令和 元 年 7 月 7 日更新)

事務事業	000002	遺族会活動支援事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	268,325 円				
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重			みなかみ町に居住する戦没者遺族の援護及び福祉の増進に寄与することを目的とし、戦没者遺族間の連絡提携に関する事、会員相互の親睦及び教養に関する事、靖国神社、県護国神社の参拝に関する事、戦没者遺族の援護、並びに福利に関する事などを主な事業としている。	会員の募集をしてみたが、遺族で組織している団体のため、集まらなかった。	事業実績					
	基本事業	04	平和意識の高揚					県戦没者追悼式の参加人数					
根拠	無	組織	町民福祉	課	障害・福祉	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	3	項	1	目	1	平成29年度	平成30年度	単位
							遺族の高齢化等による町遺族会員の減少	遺族会から解散の申し出があるまで継続する予定。					
								12	11	人			

平成 30 年 8 月 16 日作成 (令和 元 年 7 月 1 日更新)

事務事業	000003	平和式典・戦没者追悼式事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	244,801 円				
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重			戦争により犠牲になられた方々への哀悼の意をあらためて表すと共に、平和の尊さを次世代に伝えるために実施する事業。	中学校が統合するタイミングで、千羽鶴の依頼方法、平和へのメッセージの募集人数を検討する予定。	事業実績					
	基本事業	04	平和意識の高揚					式典参加者数					
根拠	無	組織	町民福祉	課	障害・福祉	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	3	項	1	目	1	平成29年度	平成30年度	単位
							遺族の高齢化等により、式典に参加する人数が減少。千羽鶴作成依頼先の、町内中学校では、生徒減少により負担となっている。	参加者が減少しているので、式典を毎年行うか隔年で行うか検討が必要。					
								123	129	人			

平成 30 年 8 月 16 日作成 (令和 元 年 7 月 1 日更新)

事務事業	000004	慰霊参拝費補助事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	0 円				
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重			「先の大戦」の記憶が風化しつつある中で戦没者遺族の青少年が我が国・唯一の激戦地となった沖縄を訪れるための費用の3分の1を町が負担する。	無し。	事業実績					
	基本事業	04	平和意識の高揚					支給件数					
根拠	有	組織	町民福祉	課	障害・福祉	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	期間限定 H ~ 年間		会計	1	款	3	項	1	目	1	平成29年度	平成30年度	単位
							課題無し	無し。ここ数年参加者なし。					
								0	0	件			

## 24\_平和と人権の尊重

平成 30 年 8 月 16 日作成 (令和 元 年 7 月 8 日更新)

事務事業		000005		自衛官募集事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		75,692 円			
施策体系	施策	24		平和と人権の尊重				自衛官又は自衛官候補生の募集に関する広報宣伝や募集に関する事務を行う	募集広報ポスター等の内容や掲示方法を改善することで広報の効果を高めることを目的に、自衛隊沼田地域事務所の広報官と連携を積極的に取り合った。	事業実績							
	基本事業	04		平和意識の高揚						自衛隊入隊者数							
根拠		無	組織	町民福祉		課		窓口・医療		係		平成29年度		平成30年度	単位		
事業期間	継続事業		会計	1	款	3	項	1	目	1	限られた時間で効率的に事務を行うため、事務事業の行動計画をつくる。		限られた時間で効率的に事務を行うため、事務事業の行動計画をつくる。		4	2	人

平成 30 年 8 月 14 日作成 (令和 元 年 6 月 21 日更新)

事務事業		000006		忠霊塔公園管理運営事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		143,406 円			
施策体系	施策	24		平和と人権の尊重				都市公園に係る維持管理事業である。	なし	事業実績							
	基本事業	04		平和意識の高揚						修繕箇所数							
根拠		有	組織	地域整備		課		都市計画		係		平成29年度		平成30年度	単位		
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	4	目	4	課題無し		湯原区に公園トイレの管理を委託していたが、現在公園全体の管理ついて協議を行っている。今後の協議で纏めていきたい。		1	1	箇所